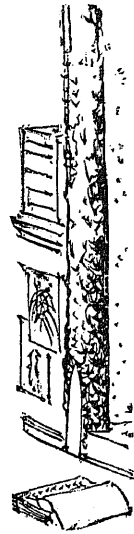


日本の音楽

日本大學教授 市村富久



法律家と云へば理窟一天張の様に開ゆれど中には小説家川柳家として有名なる岡田法學博士の如き又義太夫に妙を得し穂積博士の如き粹な人もあるものなり、而して今茲に掲げたる市村法學士の如きも其内の一人にして、尺八に堪能なるのみならず音樂一般の思想に富まれしは實に意外とする所なり、法律家の音樂意見を耳にするも亦一興ならずや

吾輩に何か面白い話を聞かせと言ふのか、何面白ういことがあつたものか、こちらより聞かして貰ひたい位だ。どうだ君の海老茶式部狩の話を聞かせないか、君は餘程その方の名人だと言ふ評判があるよ。何んだ、吾輩の方から先きに話せと言ふのか、は、ッ中々如才のない男だわい。それでは海

老茶式部狩物語は、お互に後廻しとして何か外の事を話さうかな。何がよからう。女子に關したことが聞きたい、それはお間違ひだ、法律家に女子教育とは少し變だね。併し折角のお出でだから音樂に就て少し述べて見やう。

近頃の所謂音樂家は、西洋の音樂でなくては音樂でないかのやうに謂ふけれども、吾輩にはその意を解することが出来ない。成程西洋は日本より進歩してゐるには相違ない。併し進歩してゐるから音樂で進歩しないから音樂でないといふことは出来まい。三味線も音樂なら横笛も音樂である。それであるのに、日本の音樂を殆んど音樂でないかのやうに謂ふのは、少し間違つてゐるのである。今の西洋音樂家は、日本の音樂を眞に解することが出来ぬではなからうか。音樂學校卒業生などは到底日本の音樂を見る眼がないと云つても過言ではなからふと思はれる。否研究してゐる西洋の音樂ですら、眞に知ることは疑問であらふと考へるまわ彼等の學歴を考へて見ても知れたものではな

いか、普通學を研究したか爲ないかで學校に這入

つて、それから二年や三年修業したとて深く學べるものではない、これを他の學科に比して見れば高等學校程度と見てよい、いくら専門だと云つても、三年位で大家になれる筈はないからね。そして彼等が日本音樂を音樂でないと云ふ理由に曰くさ、日本音樂は音樂理論に合はないから音樂とは云ひ兼ねると唱へるのである。日本の音樂が西洋の音樂理論に合はないのは少しも不思議ではない寧ろ合はないのが當然だ、音樂はその國々の國民性の精華とでも言つたやうなものであるから、その國その國で違つて居るのは自然の理である。支那には支那的の音樂があり、佛國には佛國的の音樂がある如く、日本には日本固有の音樂があるのである。そして西洋の音樂理論は西洋の音樂に就いて述べたものであるから、西洋とは風俗習慣の異なる日本の音樂に合はぬのは當然だ。元來日本と西洋とは樂器から違ふではないか、西洋の樂器は風琴でも洋琴でも多くは器械的の出來てゐるが日本のは尺八でも三味線でも大概はそんなことはない。尤も月琴や琴は器械的の傾があるが、そ

れとて全然同じい譯ではない。

音樂家であると云ふ以上は、彼れを取つて是れを捨てると云ふやうなことを爲さないで、東西とも調和の出來る所はこれを調和して、何れも發達の出來得る限り勤めたらどうであらふ。殊に日本人であるなら、日本固有の音樂は充分發展させて、他に比して遜色のないやうにせねばならぬ義務があると思はれる、又日本音樂が左程發展することが出來ぬとしても、我國に音樂を普及せんとしたならば、どんな音樂でもこれを日本化せなければ勞して功はないのである。この事は音樂に限らず何んでも同じであつて、皆日本化するの必要があります。佛敎は今日日本で勢力もあり且つ日本宗敎となつてゐますが、元は支那地方から流布したもので、その初めは日本宗敎でなかつたのを、日本的佛敎として初めて布敎が出來たのである。又耶穌敎でも西洋から來たものであるが、其儘では駄目であつて、是非日本化せなければならぬのである。これを法律に比して見ても同じで、西洋の法律は進化してゐるからと云つて、西洋のものを

其儘日本に施行したなら、日本法律としては悪法であるのみならず、變なものになつてしまふ。日本の法律は西洋の學理を採用はしたが、日本固有の風俗習慣は決して度外視してゐない、それと同様、宗教でも音樂でも苟もこれを日本に輸入して普及せしめんと欲するなら、宜しく日本國民の性質人情等を參酌して、所謂日本化した以上でなくてはならないのである。

今の音樂家稍々もすれば、これ等の事を少しも考へないで、只無茶苦茶に普及せんとする者があつるが、それは駄目である。併しまだ普及せんとするものは大に賞すべき點があるが、人によると普及所か日本音樂を排斥し且つ西洋音樂の一端を知れば充分だとする者がある。否これが多いかも知れない。そうして今の所では尤で獨逸音樂の outlet と云つた様な調子で、發展などとは思ひもよらぬことである。何んと困つたものではないか、考へると日本音樂は實に心細いやうである。吾輩はこの點に就て公表して見たいと思つてゐるが、時期を得ないから其儘にしてゐる。君は幸ひ音樂もやつて

ゐるのだから、筆に口に大に論じて貰ひたい。

澤柳文部次官曰はく、「半時間でも子供を楽しくする教師は神の手傳をなすものであるといつた人があるが、その通りである。無邪氣の子供を常に相手にして居る教師は天國に逍遙して居るものであるといつてもよい、一字を教へ一事を解せしむるも儘にそれだけの善事である。兒童の知を増し徳を進めて居る教師は實に善事をなし續けて居るものである。次代の國民を養成しつゝあるものは教師である、社會文明の根本を培ひつゝあるものは教師である、國家富強の基礎を堅めつゝあるものは教師である。もし精神上の安慰、快樂が爲した善事に相當するものとするれば教師の感ずる精神上の安慰は實に大なるものである。教師はかくの如く精神上の一大報酬を得つゝあるのであるが、惜しいことはこれを自覺するものは多くない。これは求めて得られざる多くの物質上の報酬を眺めて却て得らるべき精神上の報酬に眼を掛けないためである云々